

【職場における化学物質管理の今後のあり方に関する検討会」報告書抜粋】

3 職場における化学物質管理のあり方

(2) リスクに基づく合理的な化学物質管理の促進

ア 簡便なリスクアセスメント手法の導入、普及及び定着

化学物質管理支援事業において、簡便なリスクアセスメント手法の開発に向けて検討中
(平成22年度～23年度)

イ 個人サンプラーによる測定への導入に向けた検討

個人暴露測定に関する検討委員会(環境改善室委託事業)において検討中
(平成22年度～23年度)

ウ 作業環境測定の評価結果の労働者への周知

本検討会において検討

エ 作業環境測定の結果を踏まえた労働衛生管理の推進

事務レベルで対応を予定

オ 局所排気装置の要件等の柔軟化

作業環境管理における工学的対策に関する検討会(環境改善室委託事業)において検討中
(平成22年度～23年度)

カ 局所排気装置等以外の発散抑制方法の導入

本検討会において検討

キ リスク低減の取組に応じたインセンティブの付与

今後必要に応じて検討